

## 長期間使用停止後の運転再開手順について

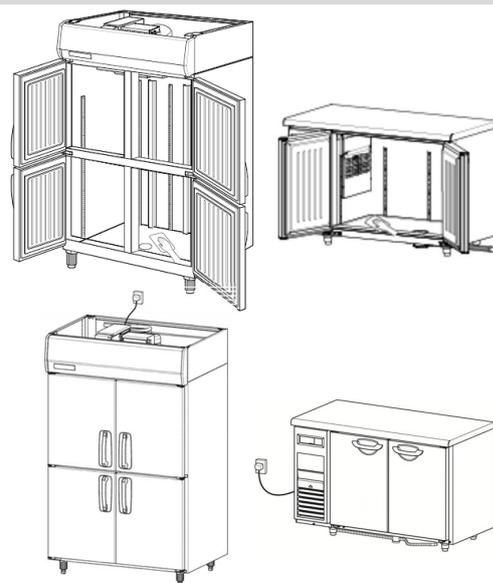
長期間の使用停止後に、機器の運転を再開される際の手順についてご案内いたします。

### 業務用冷凍・冷蔵庫（たて型・よこ型）

- ① 取扱説明書の「点検とお手入れのしかた」の項に従って外装、庫内、凝縮器、パッキン、排水口などのお手入れをしてください。
- ② 庫内の水分を十分に拭き取り、庫内を乾燥させてください。
- ③ コンセントに電源プラグを差し込むと、自動的に運転を開始します。約1時間運転し、庫内が冷えることを確認してからご使用ください。

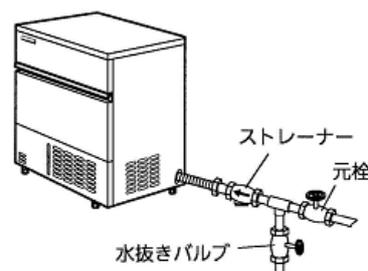
#### ※ご注意

コンセントは、専用コンセントを使用してください。  
（品番によって単相100V、三相200Vがあります）



### 小型・中型キューブアイス（バーチカルタイプ、アンダーカウンタータイプ）

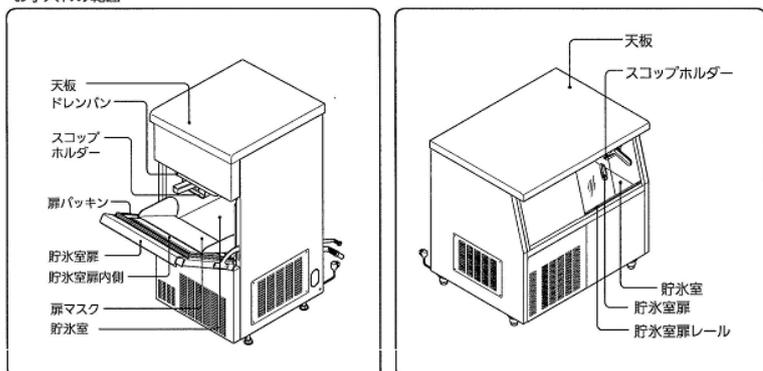
- ① 運転を開始する前に取扱説明書の「点検とお手入れのしかた」の項に従って、掃除を行ってください。
- ② 貯氷室内と貯氷室扉の内側をよく拭いてください。
- ③ 水抜きバルブ閉を確認後、元栓を開き、配管からの水漏れがないことを確認してください。
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に運転を開始します。1時間運転し、氷が作られていることを確認してからご使用ください。



#### ※ご注意

製品保護のため、電源を入れてから約5～10分間は冷却運転を行いません。  
使い始めて最初の氷は、捨ててください。

お手入れの範囲



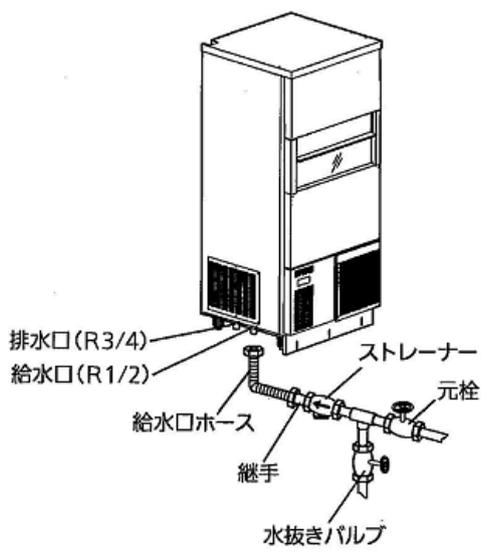
# 大型キューブアイス（バーチカルタイプ、スタックオンタイプ）

① 運転を開始する前に取扱説明書の「点検とお手入れのしかた」の項に従って、掃除を行ってください。

② 貯氷室内と貯氷室扉の内側をよく拭いてください。

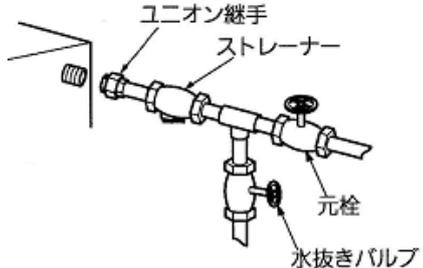
③ 水抜きバルブ閉を確認後、元栓を開き、配管からの水漏れがないことを確認してください。

④ 電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に運転を開始します。約1時間運転し、氷が作られていることを確認してからご使用ください。

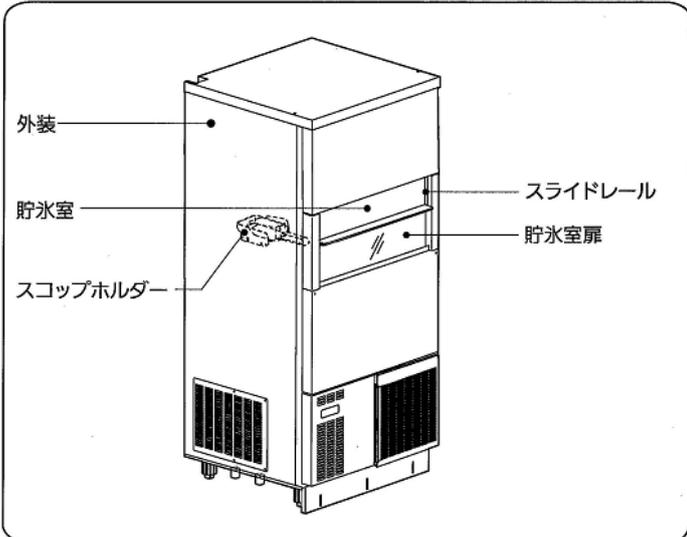


**※ご注意**

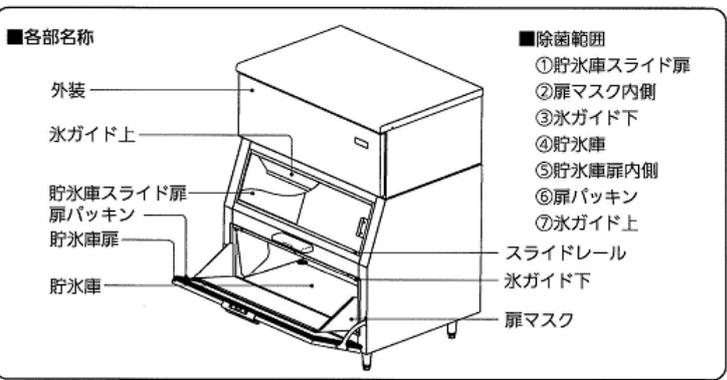
製品保護のため、電源を入れてから約5～10分間は冷却運転を行いません。使い始めて最初の氷は、捨ててください。



お手入れの範囲

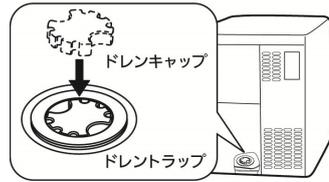
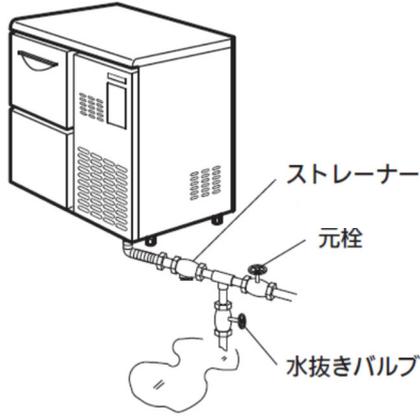


お手入れの範囲



# 小型チップ・フレイク (SIM-C120、F140シリーズ)

- ① 運転を開始する前に取扱説明書の「点検とお手入れのしかた」の項に従って、掃除を行ってください。
- ② 貯氷室内と貯氷室扉の内側をよく拭いてください。
- ③ 水抜きバルブ閉を確認後、抜きバルブ元栓を開き、配管からの水漏れがないことを確認してください。
- ④ ドレンキャップを取り付けてください。



## ご確認ください

設置時に、ドレンキャップがドレントラップに取り付けられているかを必ずご確認ください。

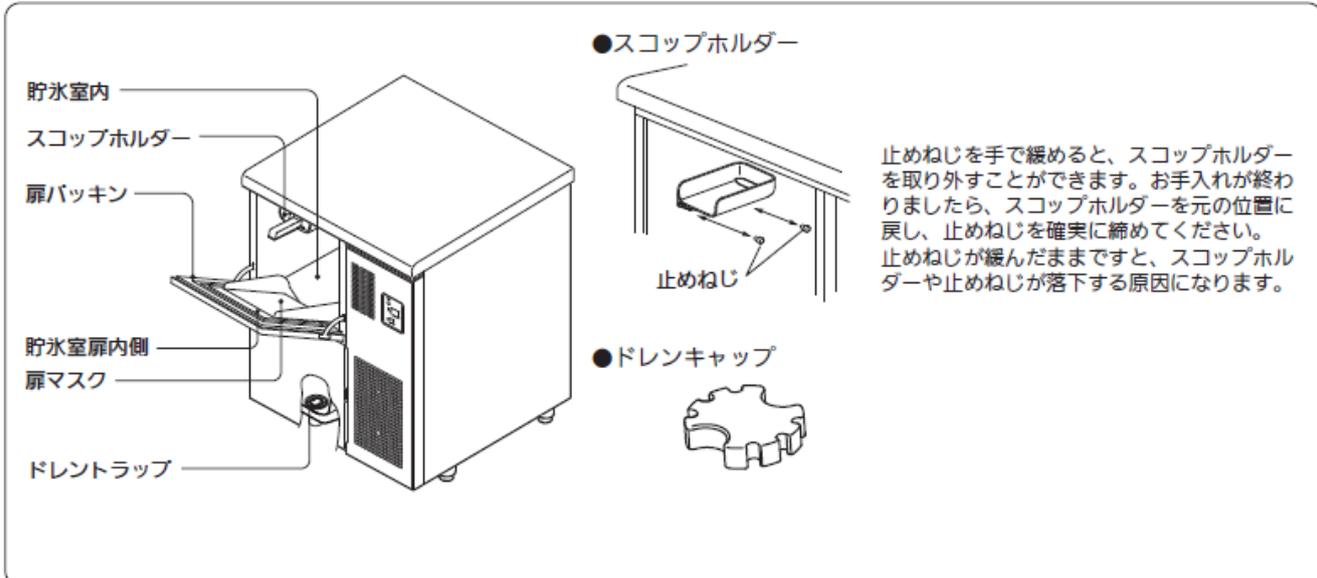
- ドレンキャップが取り付けられていないと、氷がドレントラップに詰まるだけでなく、排水溝からの臭気が貯氷室内に侵入する原因となりますので、必ず取り付けてください。

- ⑤ 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
- ⑥ 操作 (ON/OFF) スイッチを押してください。ランプが点灯し、運転が開始されます。
- ⑦ 約1時間運転し、氷が作られていることを確認してからご使用ください。



※ご注意  
製品保護のため、電源を入れてから約5～10分間は冷却運転を行いません。

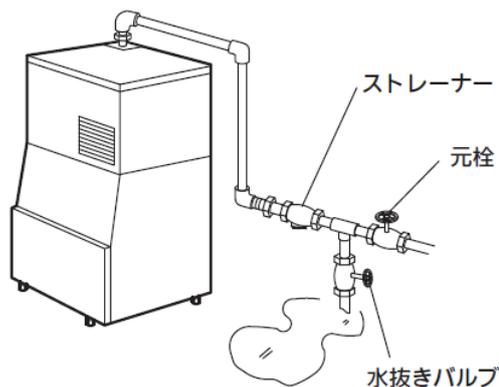
## お手入れの範囲



# 中型・大型チップ・フレイク

(SIM-C241YN、C221YW、F261YN、F281YN、SIM-C450、C900、F530、F1060シリーズ)

- ① 運転を開始する前に取扱説明書の「点検とお手入れのしかた」の項に従って、掃除を行ってください。
- ② 貯氷庫内と貯氷庫扉の内側をよく拭いてください。
- ③ 水抜きバルブ閉を確認後、元栓を開き、配管からの水漏れがないことを確認してください。



- ④ 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

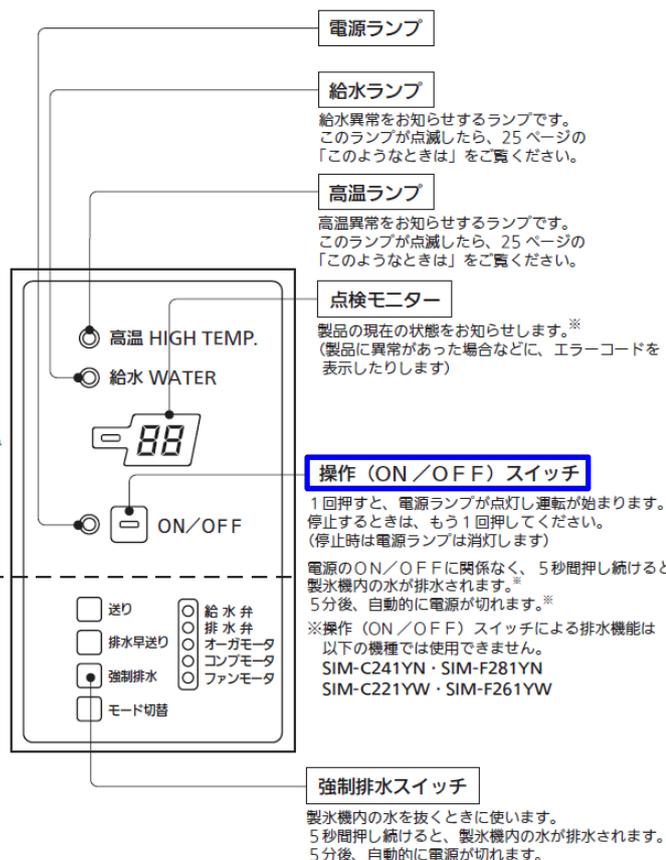
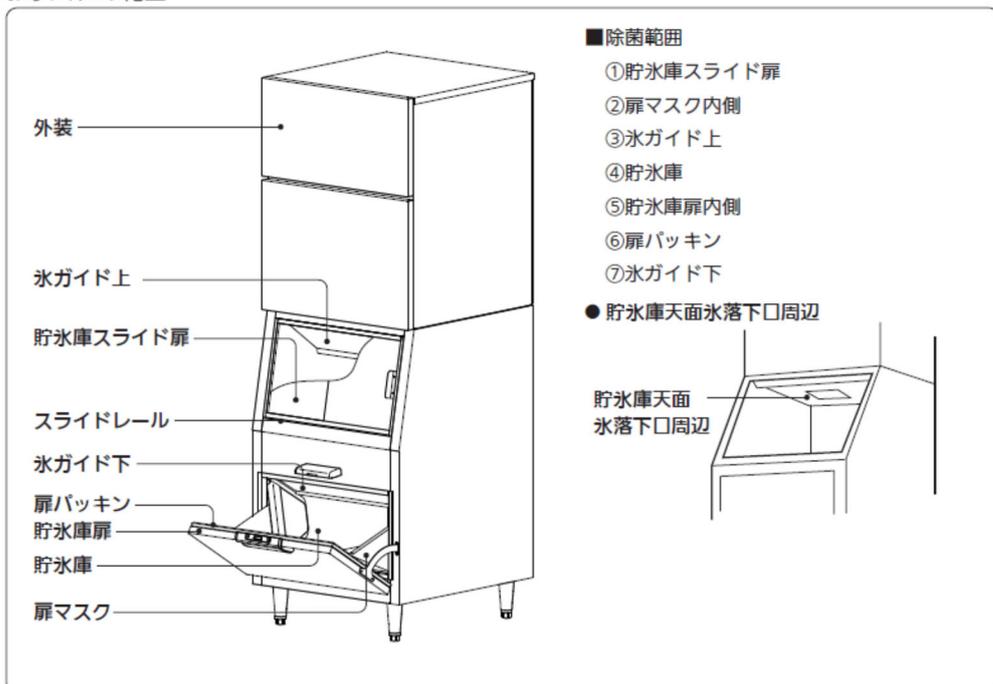
- ⑤ 操作 (ON/OFF) スイッチを押してください。ランプが点灯し、運転が開始されます。

- ⑥ 約1時間運転し、氷が作られていることを確認してからご使用ください。

## ※ご注意

製品保護のため、電源を入れてから約5～10分間は冷却運転を行いません。

### お手入れの範囲



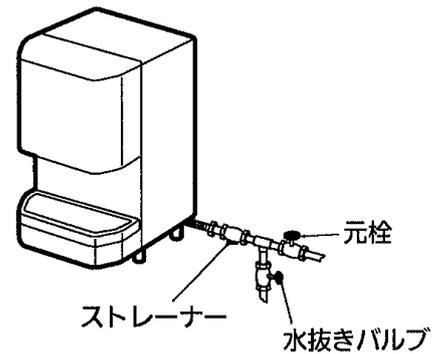
# チップアイスディスペンサー (SIM-CD125シリーズ)

① 適当なカバーをはずしてください。

② 取扱説明書の「点検とお手入れのしかた」の項（※1下表参照）に従ってお手入れをしてください。

（注水パイプやシューター等、貯氷部氷落下口周辺、ドレンパン、注出レバー、外装、凝縮器フィルター、ストレーナーなど）

- ※1 SIM-CD125シリーズ : 19～21ページ  
SIM-CD125Aシリーズ : 14～18ページ  
SIM-CD125Bシリーズ : 14～17ページ  
SIM-CD125Cシリーズ : 14～17ページ



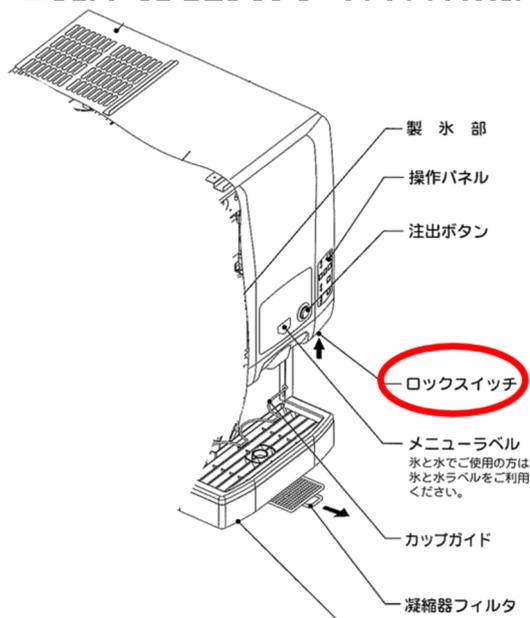
③ 水抜きバルブ閉を確認後、給水用の元栓を開き、配管からの水漏れがないことを確認してください。

④ 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

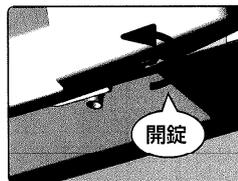
⑤ ■ SIM-CD125シリーズ : ロックスイッチを解除してください。

■ SIM-CD125A、SIM-CD125Bシリーズ : ドアを閉め、ドアロックを確実に施錠してください。

■ SIM-CD125Cシリーズ : パネルカバーが正常に取り付けられていることを確認してください。



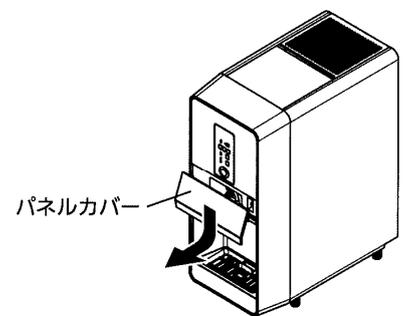
SIM-CD125シリーズ



SIM-CD125Aシリーズ  
SIM-CD125Bシリーズ

## ご注意ください

ドア開閉時に、ドアヒンジ付近で指などを挟まないよう周囲に注意してください。



SIM-CD125Cシリーズ

⑥ 電源ボタンを押してください。

電源ランプが点灯し、点検モニターに「00」が表示されます。

（点検モニターの表示は、電源ボタンを押してから1分後に自動的に消えます。）

⑦ 製氷ボタンを押してください。

製氷ランプが点灯し、点検モニターに「01」が表示され、製氷運転を開始します。

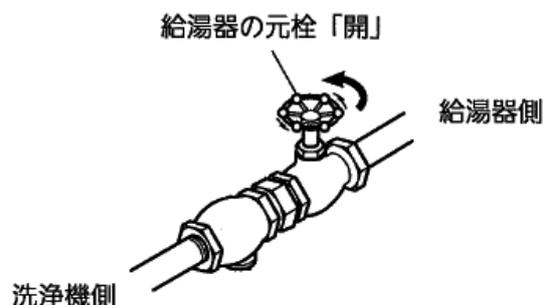
⑧ 貯氷部が氷でいっぱいになると、自動的に製氷運転を停止します。

# 食器洗浄機（ドア・フード・アンダーカウンター）

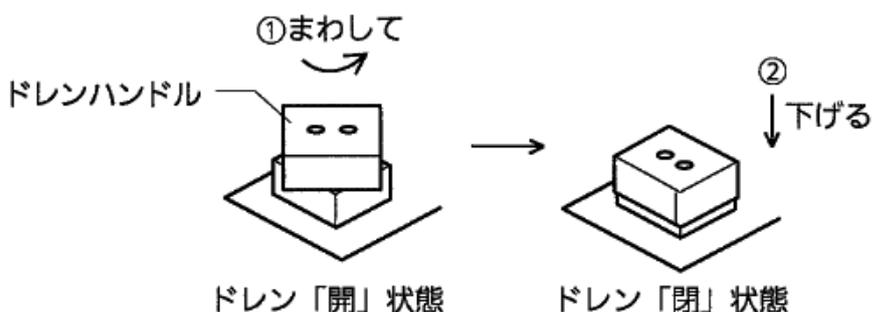
① 運転を開始する前に、取扱説明書の「点検とお手入れのしかた」の項に従って、外装、内装・洗浄タンク内、洗浄ノズル・すすぎノズル、水位センサーなどのお手入れをしてください。

② 電源プラグをしっかりと差し込んでください。

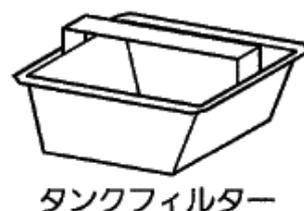
③ 給湯器の元栓を開いてください。



④ ドレンハンドルをまわして下げ、ドレンを「閉」にしてください。



⑤ タンクフィルター、仕切板を所定の位置に取り付けてください。



⑥ 運転ボタンを押してご使用ください。

